

# 天沼小だより

文責

校長 大里 忠弘



## 1年生も給食がスタート

小学校生活も1週間が過ぎた頃、1年生にもいよいよ給食が始まりました。全員がしっかりと手を洗い、机の上にはナプキンを広げます。

クラスの半分の子が給食当番。白いエプロンに身を包み、頭にはすっぽりと帽子をかぶります。お皿におかずをよそったり、お椀にシチューを注いだり、こぼさないように、慎重に、慎重に。分量を加減するのも難しい。初日のこの日、誰もこぼさず、上手に配膳することができました。

当番でない子たちは、自分の席で静かに待ちます。待っている間、とても行儀良く、クラス全体が緊張感に包まれていました。

この日のメニューは、ロールパンにシチュー、フランクフルトとコーンサラダ、そしてよく冷えた牛乳でした。みんな「おいしい、おいしい」と笑顔で頬張っていました。

コロナのために、全員前を向き、おしゃべりなしでちょっぴりさびしいけれど、仲良しと一緒に食べる食事はまた、格別です。



## 全校そろっての朝の運動が始まりました

この日は、全校児童での集合隊形と、体操隊形の確認をしました。広い校庭ですが、マスクでしっかり口と鼻を覆っての集合です。体育委員長のかけ声に合わせて、素早く展開、隊列の縦・横の確認、元の隊形への集合を練習しました。

校舎へ戻るときは、音楽のテンポに合わせて歩く行進も練習しました。まわりの人と動きを合わせる集団行動。自分の体を上手にコントロールするのに必要な神経系の発達にとっても効果のある学びになるのです。

1年生は、テキパキと動く上級生たちの様子を見学していました。もうすぐ仲間に加わってもらいます。

